

平成24年度

第4期

事業報告書

自 平成24年 9月 1日

至 平成25年 8月31日



一般社団法人 盲導犬総合支援センター

平成24年度事業について

当年度は3ヶ年計画「Go! 2014」のローリングを実施し、これまでの事業内容改善や強化の分野を見直しました。コスト対策方面では通販事業部門に於いて外部専門家（日産自動車株式会社 NPW 改善コンサルティング室）から定期的なレクチャーを受け、法人としての足固めに取り組む1年となりました。また成長の源泉となるチーム連携力、業務プロセスなど見えにくい部分のより明瞭化を次期に継続して行い、ソーシャルビジネスを営む会社らしいプロセス・ノウハウを確立する所存であります。新たな分野では新規事業計画にも着手し、検討から絞込、計画へとステップアップで進行しています。

補助犬事業への貢献も、盲導犬ユーザー・ボランティア支援をはじめ、協会や協力会社のイベントサポート、寄付など多岐に渡り、それぞれの関係者から感謝の念を頂きました。7月恒例のボランティア夏祭り（富士宮市）では総勢過去最大の262名が参加、スタッフとボランティアさんのみで運営するバーベキューやビンゴ大会は初めての試みにも関わらず、大成功裏に終えることができました。犬用フードや盲導犬ユーザー専用の消耗品も円安に伴う原材料価格上昇にいち早く対応し、販売価格を上げることなくサービスの提供を行うことが出来たのも大きな強みです。11月には社会福祉法人 中部盲導犬協会主催の第一回チャリティゴルフ大会を企画・運営し、新しい貢献をもたらすことが出来ました。

「私たちは、チャリティグッズ販売・イベント企画などにより、利益を生み出し、その一部を盲導犬・介助犬事業に資するのみでなく、仕事の合間をぬって、時間を積極的にうみだし、業務の一環として支援活動を実践する。」

あらゆるステークホルダーの満足を第一として、ビジネススキルの研鑽に努めてきたからこそその成長と言えます。

震災以降継続して参りました被災動物に対してのフード支援も年間通じてたくさんの方々に応援頂き、実行当初同様のボリュームに変わらぬ規模で計画通りに支援実施することができました。

次期は「Go! 2014」の最終年となります。これまでの営業状況を総括し、今後の拡大、再成長に向けてすべてのステークホルダーと共に歩んで参ります。

それぞれの事業の詳細は、以下の通りとなります。

I. 収益事業

1. 店舗

- (1) 神奈川、仙台、富士宮、島根（計4店舗）で商品販売を行った。
 - (i) 全国の盲導犬ユーザー、ボランティアへ犬具/フード販売
 - (ii) 施設見学者に対してのチャリティーグッズ販売
 - (iii) 施設外イベントでの一般チャリティーグッズ販売
 - (iv) 日本盲導犬協会へ犬具/フード販売
 - (v) 共同訓練中ユーザーへの犬具紹介と販売

- (2) その他販売活動を行った。
 - (i) 視覚障がい者へのリハビリテーショングッズ販売（仙台）
 - (ii) 富士ハーネス併設ラウンジでのお弁当、ドリンク販売（富士宮）
 - (iii) 富士ハーネス併設ドッグランの使用料販売（富士宮）
 - (iv) 東日本、関西、北海道盲導犬協会への犬具/フード販売（神奈川）
 - (v) 日本介助犬協会への犬具販売（神奈川）

- (3) ボランティア主催イベント補助
日本盲導犬協会ボランティアが主催するイベントの運営協力及び商品の協賛を行った。 6回
神奈川冬懇親会、キャンドルナイト、神奈川春犬舎ボラ懇親会、
仙台懇親会、富士ハーネス夏祭り、島根ボラ懇親会

- (3) 支援、協力業務
日本盲導犬協会からの委託業務及び支援活動を行った。
 - (i) 募金箱発送業務（仙台）
 - ・ 発送依頼を専用サイトで受注、発送完了報告までを管理 896 件
 - ・ 返送された募金箱の処理、返送報告を行った
 - ・ 募金箱に関するすべての在庫資産を棚卸管理した
 - (ii) 盲導犬啓発デモンストレーターを行なった。（仙台） 3回
 - (iii) ハーネス胴輪、ハンドルの制作及び管理業務
 - ・ 使用後の修理やハンドルグリップのテーピングサービス
 - ・ 協会使用本数の管理及び在庫資産の棚卸管理と報告を行った
 - (iv) 特別療養食
 - ・ 特別ケアの必要な犬の管理者を協会と連携して把握
 - ・ 希望者への円滑な発送作業及び受発注管理業務を行った

2. 法人営業

(1) チャリティーグッズ大口受注

盲導犬普及活動の一環として、企業・販売店の販促品、学校保育園児童への啓蒙活用、イベントでの景品、ユニフォーム等において盲導犬チャリティーグッズの活用提案、および販売を行う。

(全東急ストア労組、盛岡ペットワールド専門学校、ミヤギ産業、東神開発㈱、ドイチェアセットマネジメント㈱ 他全 48 社)

(2) オリジナルグッズの受注

支援企業、法人へより独自性を持たせた盲導犬普及活動として、付加価値のあるオリジナルデザインのチャリティーグッズ制作による営業販促、ユニフォームでの企業 PR、社会貢献活動 PR 提案を行う。

全国の企業、法人、販売店等より盲導犬とコラボデザインのオリジナル商品の受注を受けデザイン、製作を行う。

(静岡中央新聞販売㈱、コンピューターブレインズ㈱、ソラーレホテルズアンドリゾーツ㈱ 他全 32 社)

(3) 広告及びスポンサーの獲得

年 4 回発行のチャリティーグッズカタログの広告スポンサーと富士ハーネスドッグランのサブスポンサーシップを獲得。

媒体による企業 PR の場を提供。

(㈱ダッドウェイ、㈱サンギ、日本ランズエンド㈱、㈱ジャックス 他全 13 社)

(4) ライセンス契約商品を通じた盲導犬普及活動

ライセンス契約の商品企画提案とその実現により、相手先販路にて商品を通じた盲導犬普及活動に寄与する。

また協力企業の理解もより深められるよう、社内での実演会の開催、WEB掲載用のコラム記事作成も行う。

(㈱サンギ、㈱ハーモニック、横浜マリノス㈱、㈱アスク、日本ランズエンド㈱、他全 12 社)

(5) 支援、協力業務

(i) 日本盲導犬協会

- ・チャリティーゴルフ大会への商品協賛、参加企業集め
- ・ボランティア懇親会への商品協賛企業集め
- ・神奈川訓練センター犬舎へ掃除用ブラシ提供依頼 (㈱ナチハマ)

- ・募金活動協力（東京ギフトショー、エルミこうのすイベント、ドッグフェスティバル）
 - ・企業の実演開催へ誘導による寄付（ネットワーク）
 - ・募金箱設置店確保（西湖人）
 - ・職員用ユニフォーム、PR 犬用のコートの製作
- (ii) 中部盲導犬協会
- ・チャリティゴルフ大会への商品協賛企業集め
- (iii) 関西盲導犬協会
- ・職員用ユニフォームの製作
- (iv) 日本介助犬協会
- ・介助犬フェスタ用グッズの製作
- (v) 2013 年応援団カレンダー登録料からの寄付及び支援
- ・現金寄付
 - 日本介助犬協会、東日本盲導犬協会、関西盲導犬協会
 - ・カレンダー寄付 日本盲導犬協会
 - ・被災犬保護施設へのフード支援

3. 通販

(1) WEB 通信販売

- ・盲導犬サポート SHOP にてチャリティーグッズの販売を行った。
<http://www.gomoudouken.net> 会員数：31,150 人
- ・わんわんサポート SHOP にて全国の盲導犬ユーザー及びボランティアに
 犬具及びフードの販売を行った。
<http://www.gogomoudouken.net> 会員数：1,132 人

(2) カタログ発行

(i) 季刊誌を発行

- | | | | |
|------|--------------------|-----|-----|
| ・10月 | 盲導犬サポ一SHOP VOL. 27 | 24P | 7万部 |
| ・1月 | 盲導犬サポ一SHOP VOL. 28 | 24P | 7万部 |
| ・4月 | 盲導犬サポ一SHOP VOL. 29 | 24P | 3万部 |
| ・7月 | 盲導犬サポ一SHOP VOL. 30 | 24P | 3万部 |

(ii) 商品カタログとして他社書籍への綴じ込み

- ・RETRIEVER（レトリバー）2012年01月号 掲載

(3) 特定寄付企画

特定寄付商品を販売し、企画内容商品の支援を行った。

(i) 盲導犬関連

- ・《第7弾》フードと快適シートを届けよう

期間：9月20日～4月14日

- 内容：中部盲導犬協会 ⇒ 訓練犬用フード50袋
- 日本盲導犬協会 ⇒ 快適シート2枚
- 北海道盲導犬協会 ⇒ 快適シート3枚

(ii) 被災犬関連

支援フード総数 803袋 (約8,301kg)

フード支援先

- ・Dogwood
- ・日本アニマルトラスト
- ・福島県動物救護対策本部
- ・犬猫みなしご救援隊
- ・アニマルレフュージ関西
- ・ペット輸送ゆりかご
- ・KDP 神奈川ドッグプロテクション

(4) 広報活動

(i) 販売促進や事業宣伝及び懸賞のリリース、配信

期間	紙媒体向けリリース数(掲載数)	ネット配信数
2012.09	1件(5媒体)	---
2012.10	1件(3媒体)	1件
2012.11	1件(5媒体)	1件
2012.12	---	---
2013.01	1件(1媒体)	---
2013.02	1件(6媒体)	1件
2013.03	1件(7媒体)	---
2013.04	1件(1媒体)	---
2013.05	1件(1媒体)	---

(ii) 電子メディアの運営

- (a) ホームページ (<http://www.goguidedogs.jp/>)

活動状況や実績、ニュースを更新

- (b) オフィシャルブログ (<http://ameblo.jp/goguidedogs>)

盲導犬の活動やイベント情報を掲載

読者数 954人

- (c) その他 SNS

ツイッター (<https://twitter.com/goguidedogs>)

FaceBook (<http://www.facebook.com/GoGuideDogs>)

4. イベント

(1) 主催イベント

一般参加者、ボランティアの方に参加していただき、盲導犬に対する理解向上や普及推進に取り組んだ。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ① 那須高原レトリバー交流会（那須） | 参加者100名 頭数50頭 |
| ② 盲導犬チャリティラン（新横浜） | 参加者150名 |
| ③ HURUレトリバー交流会（横浜） | 参加者 50名 頭数25頭 |
| ④ 感謝祭（富士ハーネス） | 参加者 25名 頭数12頭 |
| ⑤ 企業バスツアー（日立システムズ） | 参加者 45名 |
| ⑥ 本部販売会（渋谷）2回 | 参加者 40名 |
| ⑦ 盲導犬ふれあいキャンペーン（東急ハンズ銀座店） | |

(2) 日本盲導犬協会主催イベント

イベントでのチャリティーグッズ販売を約 200 か所で行った。

- ① 高島屋ショッピングセンター各店舗で6回実施
- ② そごう・西武の各店舗で12回実施
- ③ ららぽーと各店舗で8回実施
- ④ イオン各店舗で2回実施
- ⑤ マルエツ各店舗で5回実施

(3) 相模鉄道主催イベント

相模鉄道主催の「ふれあいウォーク」のイベントをコーディネートした。
一般参加者 150 名

(4) 盲導犬育成チャリティゴルフ大会

チャリティゴルフ大会の開催にあたり、事務局及び運営を行った。

- (i) 富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会 9月（静岡）
主催：（公財）日本盲導犬協会 場所：富士平原ゴルフクラブ
- (ii) 盲導犬育成チャリティゴルフ大会 11月（岐阜）
主催：（社福）中部盲導犬協会 場所：ぎふ美濃ゴルフ倶楽部

(5) チャリティーBOX

登録設置販売へ専用キット及びチャリティーグッズの卸売を行った。

<http://www.goguidedogs.org> 加盟店舗数： 253

(6) 応援団カレンダー

一般募集による愛犬の写真でカレンダーを制作、販売を行った。

応援団カレンダー登録費用の3分の1及びカレンダー売上の20%を寄付した。

・ 関西盲導犬協会 ・ 日本介助犬協会 ・ 東日本盲導犬協会

(7) 募金活動

イベントにて募金活動を行った。

集まった募金を日本盲導犬協会へ届け、以下の受領書を受け取った。

日付	募金額(単位:円)
20120903	2,551
20120910	17,075
20121110	12,741
20121209	11,725
20121219	615
20130217	4,501
20130423	29,599
20130617	54,631
20130624	1,400
計	134,838

II. 管理・運営

1. 理事・顧問・監事・従業員状況

(平成25年8月31日時点)

理事…3人、顧問…1人、監事…1人、契約社員…6人、パート…17人

2. 理事会及び社員総会の開催状況

理事会を毎月第4週に開催し月次決算報告、日常業務の執行及び重要業務の協議決定を行った。

社員総会を10月23日に開催し、第3期決算書(貸借対照表・損益計算書)の承認を行った。

附属明細書

会社法 第二百二十八条に定める「事業報告の附属明細書」は、当該事業年度に於いて存在しないので作成しない。